

第2回保健福祉審議会（令和7年1月14日）における委員からの意見一覧

	資料番号	項目	ご意見	区の回答
1	参考資料 1 - 2	子育て訪問相談事業、としま鬼子母神プロジェクト、ゆりかご面接	産後ケア事業について、年末の申請だったが、スピーディに対応してくれた。オンライン申請が分かりやすくてよかった。年始にも家庭訪問をしていただき、不安なことなど答えていただきありがたかった。 たくさんの資料ありがとうございます。細部にわたり計画、進捗状況が分かった。作成する大変さを考えると胸がいっぱいになりました。達成度が上がるよう心より願っています。	貴重なご意見ありがとうございます。 該当事業につきましては担当部署に伝えさせていただきましたのでよろしくお願いいたします。
2	参考資料 1 - 2	⑦-⑫ 健康診査・特定保健指導事業	成果指標の「特定受診者HbA1c平均値」は低値のほうが良いため、目標値「5.8%」に対し、実績値が「5.818%」なのは達成できていないと評価すべきだと思う。 そもそも、受診者数の割合を評価項目にしたほうが良いのではないかな。	ご指摘ありがとうございます。 現在主要な施策の成果報告で成果指標としている「特定健診受診者HbA1c平均値（%）」について、ご指摘のとおり、令和5年度の目標値5.8%に対し、実績値5.818%であり、逆転項目であるため、達成率の計算が不適切であり、次年度以降修正したいと考えます。 健診受診者数の割合も評価指標として重要な項目と考えますので、次年度以降検討させていただきます。 ご指摘ありがとうございました。
3	資料2	包括的相談支援事業	会場でも意見が出たが、相談体制の整備は必要なのではないか。 相談場所・相談窓口が多くあり、「どこに相談すればいいのかを相談する場所が必要。 エリアにとらわれない臨機応変な対応。AIチャットボットなど新しい技術を利用した対応などを今後考えていけるといい。デジタル化により人手不足対策にもなるのでは。	豊島区では、包括的な相談対応として、どの相談窓口でも、相談をいったん受け止め、適切な相談窓口に繋ぐ体制を取っております。また、相談内容を問わず、適切な相談に繋げるCSWを区民ひろばに配置しております。 相談先に悩まれた際に、どの福祉相談窓口でも相談が可能なことやCSWの取組について、引き続き周知していくとともに、デジタル化の推進については、今後の検討課題といたします。
4	資料2	重層的支援	順調に進んでいると感じた。 窓口は難しい。薬局も窓口になったらいいと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。
5	参考資料 1 - 1	達成率、評価点について	表内で定められている目標値に対し、実績値の達成率が130%以上でないと総合評価が5にならないのはなぜか。何のための目標値なのか。	達成率と評価点につきましては、区が毎年実施している行政評価の基準に基づき設定しており、5点…目標超過達成、4点…達成、3点…相当程度達成、2点…未達成、1点…大きく未達成と評価しております。総合評価として、4であれば目標値を達成しており、目標を大きく上回ったものを総合評価5としております。

	資料番号	項目	ご意見	区の回答
6	総括		今回は、第6期地域保健福祉計画の最初の年であり、また、来年度からは新たな基本計画が始まることになっている中での、進捗管理であるため、わかりにくくなってしまったように思います。また、私は、計画について「成果指標」「活動指標」で評価・進捗管理するのは難しい、と考えています。本来なら、具体的な事業や施設の数値をいつまでにどのくらいやるかを明記するのが計画であり、その数値が順調に達成できているかを進捗管理するものだと考えているからです。しかし、近年、区の総合計画である基本計画にも具体的な事業名が記載されずに、その下の実施計画(現在の未来戦略推進プラン)で3年間の事業量や予算額などが決められる形になっているので仕方ありません。「指標」で評価をするだけでなく、国の制度改訂(改悪)や気候、災害など毎年様々な事情で変化が起きる、それに適格に対応しながら、計画がすすむようにしてほしい。	ご意見のとおり、計画期間が令和6年度からとなっているところ、年間の実績として示せるものが令和5年度の数値であったため、わかりにくい部分が多々あったことと思います。 次年度令和7年度以降に実施する進捗管理の方法や進捗管理がどのように今後の区政に反映されるか等については、お示しできるようにしたいと考えております。 また、計画の改定にあたりましては、国の動向にも注視しつつ、進めていきます。
7		評価について	進捗管理を一部の「成果指標」「活動指標」で行うことに疑問がある。また、特に、点数化して足して二で割るような形の評価では、何が問題なのかわからなくなる。審議会で指摘したような、民泊の「標識設置確認件数が令和5年度0」であっても、平均化されて問題ないかのようにみえてしまう。目標に到達しなかったならなぜか、目標を達成・超過達成したならなぜか、この分析と対策によって事業の推進を図ることが必要で、「今後の取り組みに生かすことができる」のではないか。	進捗管理の方法については、再度検討し、次年度の審議会において示したいと思います。
8	資料1-1、参考資料1-1, 1-2	審議会の時期について	審議会の時期について、もう少し検討する必要があります。例えば令和6年度の数値で評価するとして、9月に公開されるので、すでに令和7年度が半年以上実施されており、翌年度改善についても考えなければならぬ時期になっている。また開催時には区として、すべての項目で問題点、改善点も含めて報告をいただけると。質問や意見を述べやすいのではないか。(例えば、新規事業として〇〇を実施したり、△△り工夫をしたので、〇〇の指標が改善されつつある、など)	審議会の開催時期につきまして、検討のうえ、次期審議会でお示しします。
9		進捗管理に使用する基本計画について	来年度の進捗管理では、新たな基本計画に沿った指標となるのでしょうか、具体的には、今年と同じ指標なのか、違う指標なのか、教えてください。指標を採用するにあたっては、できるだけ「再野」はさけてほしい。様々な事業があり、それらがどうなったか、を見ることで問題があるかないかがみえてくると思うからである。	新しい基本計画に沿った指標を活用し、進捗管理を行います。また、事業が複数の施策にまたがるものがございますが、再掲の標記については、可能な範囲で使用しない方法で掲載できるよう検討を進めてまいります。

	資料番号	項目	ご意見	区の回答
10	資料2	福祉包括化推進事業	「福祉包括化推進部会」について「令和5年度」に加え「令和6年度（12月末時点）」のような記載があり、わかりやすい。「福祉包括化推進部会」は月1回で事例検討を行っているとのことだが、迅速に対応するには臨機応変に関係部署が協力する必要があると思うが、どのようにしているのでしょうか。	福祉包括化推進部会については、毎月一度定例的に実施しております。部会は16課の係長級職員と社会福祉協議会の職員で構成しており、緊急の案件等については、推進員が中心となって、関係機関等を含めたカンファレンスを開催し、支援方針を検討することとなっております。
11	参考資料1－2	④-⑫	子どもの読書活動支援事業が活動指標、成果指標ともに評価が1だったのはなぜか。	コロナ禍により、活動が制限されたことによります。 区内子ども施設等への読み聞かせボランティアを派遣して開催したおはなし会への参加人数ですが、統計を取り始めたH30は年間335回、10,332名、R1は313回、9,673名でした。 このまま高水準を維持する見込みで目標設定をしておりましたが、R2、3はコロナ禍により0回になりました。 R4は5回、72名。R5は135回、2,094名と少しずつ回復はしておりますが、各施設（保育園、区民ひろば等）からのオーダーが減ったほか、1回あたりの参加人数も少なくなっており、周知不足など他の理由もあるのか回復はゆっくりのため、達成率は低くなっております。